

会報順番番号V-10

公益社団法人 日本技術士会中部本部岐阜県支部

富田 剛

技術士(機械部門、金属部門、経営工学部門)

オンライン授業で学生さんに伝えたこと

1. はじめに

数年前から、中部地区の大学の非常勤講師を務めている。昨年度までは、約100名の学生さんと対面する授業で理工系の学科にて「技術者倫理」を教えていた。さらに今年度から、加えて他の大学で「経営工学関連講座」の講師も務めることとなった。

そんなさなかに、今般の新型コロナ禍により、「オンライン授業」という形態への対応が必要となった。初めての経験であることから、「オンライン授業」とは、学生さんと教室で対面しない、「リモート(遠隔)授業」のことかと考えた。これには2つの方法があり、双方向の同時中継するものと録画収録したものを一方向で配信するものがある。ところがそのどちらでもないことが分かった。

今回の「オンライン授業」は、授業で使用するパワポ資料と話し言葉を文章にした解説資料を各大学のインターネット上のシステムにPDFファイルで掲載し、授業毎に課題を与えて解答させる双方向の通信によるものであることが分かった。大学側からの学生さんに対する配慮としてスマートフォンによる解答が可能となる仕組みにしたことがこの方式を採用した理由と考えられる。少子化に対応した大学の生き残り策とも受け止められる。他の講師においては、授業の性格に応じて「リモート(遠隔)授業」を行った。

講師も、学生さんも互いの顔が見えない状況での履修届、授業受講、アンケート形式の質疑応答、課題への解答は手探りの状況から始め、ようやく終わろうとしている。

「オンライン授業」において、講義内容には直接関係ないことではあるが、社会に出る準備を行う学生さんに伝えたことを以下に示す。

2. 「ネット検索」について気になったこと

皆さん、「オンライン授業」の受講お疲れ様でした。演習課題の解答から、講義内容の理解度が高く、しっかり勉強しようとする意欲がうかがえます。

理解度を高める方策として多くの方が、繰り返し資料を読み直したことでしょう。とても大切なことです。この結果が、演習課題の出来につながったことでしょう。

気になったことが有ります。資料を読んでいると、わからない言葉、初めて聞く技術用

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F

TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

語が、よく出てきます。すぐにインターネットで検索した方が多いことでしょう。

疑問が発生した場合に、それを解決しようとする行動に移すことはとても良いことですが、検索という手段をとる前に、その言葉が表示されている前後の文脈、図表、類似の言葉、短縮されたアルファベットを現在、ご自身が持っている知識を総動員して考えてみる時間を増やしてほしいと考えます。自分自身の考えを持ったうえで検索してみましょう。一歩前進した自分の世界が広がってきます。

また、検索サイトのほとんどの表示が、正しいのですが、100%とは限りません。どの記述を採用するか、そこに自身の判断が必要になってきます。

さらに、自身の検索方法が正しかったかどうかを確認しましょう。キーワードの選択が正しかったか、広義か狭義どちらを採用するか、時代背景によって正解が異なる場合も有るのです。

一方、検索して自身が求めていた解答にたどり着いた場合に、「あその検索サイトに掲載されている」で終わる人と、「概略は自分の言葉で理解して詳細は検索サイトにある」と考える人では、大きな違いが生じます。次に未知の言葉に遭遇した時に、どれだけ深く自分の考えを持てるでしょうか。考えるための自身の知識の積み重ねが重要です。

大学での講義は、伝えたいことをそのまま伝えるのではなく、あえて学生さんに深く考えてもらうことを目的に別の表現をとることが有ります。難しい言葉を使う場合が有るのですが、その内容を理解した時に、その言葉、表現が最適であることに気付くことが有ります。

皆さん、私が、期待していた以上に繰り返し資料を見て、解説文を読んでいただきました。今年度の授業は終了しましたが、今後の学生生活をこの調子で学習を進めてください。

3. 「初心」について

専門職技術者になろうとする時に、「夢・志」を持ち、それが「初心」という言葉で表されることが有ります。

「初心」とは、始めたころの気持ちや志、すなわち「初志」（初めのころざし）という意味で理解して使っていたと思います。

しかし、ルーツをたどれば、世阿弥の書「花鏡」の結びとして「初心忘るべからず」、時々の「初心忘るべからず」、老後の「初心忘るべからず」と書かれている。

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F
TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

すなわち、「初心」とは芸人の各段階での芸の未熟さのことで「忘るべからず」とは、初心者の頃のみじめな状態には戻りたくない。とのこと。

若き日の未熟な状態から抜け出し、年盛りから老後に至るまでの各段階で年相応の芸を学んだ初めての境地を覚えておくことにより、幅広い芸が可能になる。とのことである。

技術者も同じ考えが出来ると思います。

技術者としての各段階において、ここで述べている「初心」を忘れないようにしたいものである。

4. まとめ

新しい生活様式に対応した大学の授業形態にいち早く順応したのは、大学側ではなく学生さんだったのではないかと感じています。少子化の中で実社会に船出する準備中の学生さんに「オンライン授業」を通して伝えたことを文章にしてみました。

各大学が生き残るために様々な工夫をしています。それを評価するのは、学生さんなのかもしれません。

以上

富田 剛（とみた つよし）
公益社団法人 日本技術士会 中部本部
会計幹事
企画委員会 副委員長
技術士（機械部門、金属部門、経営工学部門）
GO TOM 技術・経営事務所 代表
